

製品安全データシート

作成日：2016年08月09日

1.製品及び会社情報

| | |
|-----|-------------------------------|
| 製品名 | Protection Base Liquid |
| 会社名 | 株式会社 クォーツテクニカ |
| 住所 | 兵庫県神戸市灘区船寺通 1-7-12 |
| TEL | 078-200-4508 |
| FAX | 078-200-4509 |

2.危険有害性の要約

GHS分類

| | |
|----------------|-----------|
| 引火性液体 | 区分3 |
| 吸引性呼吸器有害性 | 区分1 |
| 特定標的臓器毒性(単回暴露) | 区分3,麻酔作用 |
| 特定標的臓器毒性 | 区分3,中枢神経系 |

GHS分類日

2016.08.09(事業者向けGHS分類が適用) 平成21年3月 経済産業省)

GHSラベル要素

ピクトグラム(標章)



注意喚起語

危険

危険有害性情報

- H226 引火性の液体および蒸気。
 H304 飲み込んで気道に侵入すると生命に危険のおそれ。
 H336 眠気あるいは、めまいのおそれ。

注意書き

【安全対策】

- P210 熱 / 火花 / 裸火 / 高温のもののような着火源から遠ざけること。—禁煙。
 P233 容器を密閉しておくこと。
 P240 容器を接地すること / アースをとること。
 P241 防爆型の電気機器 / 換気装置 / 照明機器を使用すること。
 P242 火花を発生させない工具を使用すること。
 P243 静電気放電に対する予防措置を講ずること。
 P261 ミスト／蒸気を吸入しないこと。
 P271 屋外あるいは、換気のよい場所でのみ使用すること。

P280 保護手袋 / 保護衣 / 保護眼鏡 / 保護面を着用すること。

【処置】

P301 + P310 飲み込んだ場合：直ちに医師に連絡すること。

P303 + P361 + P353 皮膚（または髪）に付着した場合：直ちに汚染された衣類をすべて脱ぐこと / 取り除くこと。皮膚を流水 / シャワーで洗うこと。

P304 + P340 吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。

P312 気分が悪い時は、医師に連絡すること。

P331 無理に吐かせないこと。

P332+ P313 皮膚刺激がある場合、医師の診断/手当を受けること。

P370 + P378 火災の場合：消火には、乾燥砂、粉末消火剤（ドライケミカル）、または耐アルコール性フォームを使用する。

【保管】

P403 + P233 換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。

P403 + P235 換気の良い場所で保管すること。涼しい所に置くこと。

P405 施錠して保管すること。

【廃棄】

P501 廃棄する場合は都道府県知事の許可を受けた産業廃棄物の収集運搬業者や処分業者と契約し、廃棄物処理法（廃棄物の処理及び清掃に関する法律）および関連法規・法令を遵守し適正に処理する。

最重要危険有害性

特定の危険有害性 水と接触すると水素およびアンモニアを発生させる。

3.組成及び成分情報

単一物質・混合物の区分 混合物

危険有害成分

| 化学名 | 含有量(%) | 官報公示整理番号 | CAS番号 |
|--------------------|---------|----------|----------------|
| ナフサ(石油類、水素化処理 重質) | > 85.0 | - | 64742 - 48 - 9 |
| 蒸留(石油)、水素化処理した軽質留分 | >= 10.0 | - | 64742-47-8 |
| ノナン | < 5.0 | - | 111 - 84 - 2 |
| 有機ホリンラザン化合物 | >=0.5 | 非開示 | 非開示 |

労働安全衛生法(第 57 条の 2)

| 化学名 | 含有量(%) | 注 |
|-------------------|--------|---|
| ナフサ(石油類、水素化処理 重質) | > 85.0 | |
| ノナン | < 5.0 | |

GHS危険有害性成分

| 化学名 | 含有量(%) | 官報公示整理番号 | CAS番号 |
|--------------------|---------|----------|----------------|
| 有機ホリンラザン化合物 | >= 0.5 | 非開示 | 非開示 |
| ナフサ(石油類、水素化処理 重質) | > 85.0 | - | 64742 - 48 - 9 |
| 蒸留(石油)、水素化処理した軽質留分 | >= 10.0 | - | 64742 - 47 - 8 |
| ノナン | < 5.0 | - | 111 - 84 - 2 |

4. 応急処置

- 吸入した場合 被災者を新鮮な空気の場所へ移動させ、安静を保つ。
呼吸が弱かったり止まっている場合、衣類をゆるめ気道を確保した上で人工呼吸を行なう。
直ちに医療処置をうける手配をする。
- 皮膚に付着した場合 皮膚に付着した場合、直ちに石鹸および水で洗い流すこと。
汚染された衣類、靴などを速やかに脱ぎ捨てる。必要であれば切断して取り除く。
刺激が続く場合はできるだけ速やかに医師による診断と医療処置を受ける手配をする。
- 目に入った場合 最低 15 分間、清浄な水でゆるやかに眼の洗浄を行う。
できるだけ速やかに医師による診断と医療処置を受ける手配をする。
- 飲み込んだ場合 被災者に意識がある場合、水又は牛乳を与えて胃内を薄める。
無理やり吐かせてはいけない。
被災者を安静にさせできるだけ速やかに医師による診断と医療処置を受ける手配をする。

5. 火災時の措置

- 消火剤 二酸化炭素(炭酸ガス)・水噴霧・粉末・耐アルコール泡消火器
- 消火を行う者の保護 全身保護衣を着用すること。
火災の際には適切な呼吸器を着用する。
- 特定の消火方法 蒸気を吸入しないために風上に移動する。
火災の現場から製品を退避させるか、蓄熱による(容器内の)圧力上昇を抑えるため容器を水の噴霧により冷却する。

6. 漏出時の措置

- 人体に対する注意事項 換気を充分にとり、部外者の立ち入りを防ぐこと。
適切な保護具を着用すること。
- 環境に対する注意事項 排水溝、水系あるいは土壌等へ流してはならない。
適切な防護措置により拡散を防ぐこと。
- 除去方法 回収が終わるまで十分に換気を行い、作業の際には適切な保護衣を着用。
漏出物は不活性な物質(乾燥砂、土、おがくず、ウエス等)を用いて吸収させ、廃棄用容器に回収する。

7. 取扱いおよび保管上の注意

取扱い

- 技術的対策 熱源、スパークおよび火気から遠ざけること。
蒸気の吸入や皮膚、眼及び衣類への接触を避けること。
取扱いの後は手等を十分に洗浄すること。

使用後は常に容器を密閉すること。
 注意事項 静電気の帯電への予防対策をとること。

保管

技術的対策 製品提供時の容器のまま十分に換気のとれた涼しい場所で密閉し保管。
 保管場所及び容器の必要条件 適用される法令・法規等に従って保管を行なう。

8. 暴露防止および保護措置

設備対策 ドラフトチェンバーあるいは局所排気装置等の使用下で取り扱うこと。
 作業場所には緊急時のシャワー設備や洗眼設備を設置すること。

保護具

呼吸器の保護 不十分な排気・換気または長時間にわたる暴露には呼吸保護具を用いる。
 手の保護 保護手袋(耐有機溶剤)。
 目の保護 リスクの程度に応じて眼に対する保護具を着用すること(サイド保護付き保護眼鏡あるいは保護ゴーグル、必要に応じて保護シールド)。
 皮膚及び身体の保護 皮膚への接触を避けるため適切な保護具を着用する。
 保護服(耐有機溶剤)。

9. 物理的および化学的性質

外観

物質の状態 液体
 色 無色
 臭い マイルドな石油／溶剤臭
 引火点 $\geq 40.0^{\circ}\text{C}$ 方法：ASTM D-56
 溶解性 水との混合により二層に分離する。

10. 安定性および反応性

避けるべき条件 強酸化剤との接触を避けること。また強酸性および強塩基物質との接触は本製品の加水分解を起こす恐れがある。
 加熱、スパーク、裸火、及びその他の発火源は避ける。
 危険有害性のある分解生成物 熱分解により二酸化炭素、一酸化炭素、窒素酸化物を発生するおそれがある。
 水素
 アンモニア
 危険有害反応可能性 予期される通常の保管及び条件において安定と考えられる。

11. 有害性情報

製品情報

急性毒性 急性毒性(吸入) 中枢神経に影響を及ぼす恐れがある。

組成情報

ナフサ(石油類、水素化処理 重質) (64742 - 48 - 9)

急性毒性 経口 LD50: >15000 mg/kg
 経皮 LD50: >3160 mg/kg
 吸入 中枢神経に影響を及ぼす恐れがある。

蒸留（石油）、水素化処理した軽質留分（64742 - 47 - 8）

急性毒性 経口 LD50: >15000 mg/kg
 経皮 LD50: >3160 mg/kg
 吸入 毒性は極めて低い。

有機ポリシラザン化合物

急性毒性 吸入 中枢神経系に影響を及ぼす恐れがある。

12.環境影響情報

製品情報

その他の環境影響情報 生態系に関する追加情報：知見なし

組成情報

ナフサ（石油類、水素化処理 重質）（64742 - 48 - 9）

その他の環境影響情報 VOC に該当

蒸留（石油）、水素化処理した軽質留分（64742 - 47 - 8）

その他の環境影響情報 VOC に該当

13.廃棄上の注意

残余廃棄物 下水、地中、水中への廃棄を行ってはならない。

焼却する場合は関連法規・法令を遵守する。廃棄する場合は都道府県知事の許可を受けた産業廃棄物の収集運搬業者や処分業者と契約し、廃棄物処理法（廃棄物の処理及び清掃に関する法律）および関連法規・法令を遵守し適正に処理する。

汚染容器・包装 空容器を廃棄する場合は、内部に付着した物を完全に除去し、上記の方法に従って廃棄を行う。

14.輸送上の注意

国際規制

IATA UN number 2924
 Description of the goods Flammable liquid, corrosive, n.o.s.
 (Organic polysilazane compound)

Class 3

Packing group II

Labels 3(8)

Environmentally hazardous no

IMDG UN number 2924
 Description of the goods Flammable liquid, corrosive, n.o.s.
 (Organic polysilazane compound)

Class 3

Packing group II
 Labels 3(8)
 EmS Number 1 F - E
 EmS Number 2 S - C
 Marine pollutant no

15.適用法令

化審法 規制されない。

労働安全衛生法 引火性の物 ナフサ（石油類、水素化処理 重質）
 有機則 第三種有機溶剤 ナフサ（石油類、水素化処理 重質）
 名称を通知すべき危険物及び有害物質(法第 57 条の 2)
 ナフサ（石油類、水素化処理 重質）
 ノナン
 名称を表示すべき危険物及び有害物質(法第 57 条の 1)
 ナフサ（石油類、水素化処理 重質）
 ノナン

毒物及び劇物取締法 規制されない。

消防法 第四類 引火性液体 第二石油類 危険等級Ⅲ,非水溶性,指定数量,1000L
特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善の促進に関する法律 (PRTR 法) 規制されない。

16.その他の情報

詳しい情報

記載内容は、現時点で入手できる資料、情報にもとづき当該製品の取り扱い、使用、処理、保管、輸送、廃棄、漏洩時の処理等を安全に行っていただくために作成されたものです。

記載されている情報は保証もするものではありません。また品質を特定するものではありません。